がんばろう 南三陸町

復興第87号

発 行 所

千葉総合印刷株式会社

本吉郡南三陸町志津川字沼田 150-84 TEL(46) 3069 FAX(46)3068 企画・編集

志津川広報センター



10月20日日曜日、志中恒例の発表会が開催された。今年は「轟~響き渡れ志中の名~」と題され、志中生のパフォーマンスが躍動した。

3年生の熊谷藍斗実行委員長は、「地域や家庭 の皆様に日頃の感謝の気持ちと感動を届けたい」 と話す。

発表は、英語暗唱・英語弁論・国語弁論・少年の主張があり、防災学習発表が披露された。 三浦校長先生の挨拶に続き、クラス対抗合唱コンクール、学年が進むごとにレベルが上がっている気がする。PTA以外の皆さんにもぜひ聴いてもらいたい。



志津川地区の元気な後輩達の頑張りに、喜びと 感動の学芸会となった。

10月19日(土)に令和元年初めて、全町での小学校の学芸会が開催された。

プログラム1番は、1年生の開会のことばで、体全体を動かし元気な声で、会場の家族に「楽しんで下さい」と伝えた。続いて吹奏楽部による 2020 年東京オリンピック応援ソング「パプリカ」を披露した。

プログラムの 11 番の最後の演技は、6年生の 劇「一番列車が走った」で、原爆投下のわずか 3日後の焼け野原となった広島の姿を表現した。

会場からは、すすり泣く声が聴こえ、児童の 名演技に感動した。

11月3日文化の日 南三陸町 功労

南三陸町文化功労 章の授与式が開催さ れ長年町の福祉・医療・教育・調査など に貢献・尽力してい



ただいた9個人・2団体が表彰された。

お祝いの席には関係者が大勢集まりその活動貢献に感謝した。

町長の祝辞では「皆様方に敬意を表し、改めて 御礼申し上げます。」と述べた。

議長は「町政発展と復興に尽力され、持続可能な町を必ずや成就する。」と話した。

「教育文化功労」髙橋長泰、阿部博之。「保健衛生功労」小野寺勉、阿部文好、阿部菊治。「統計功労」 三浦富一、菅原三美、阿部洋、髙橋克雄。「産業功労」 宮城県漁業協同組合志津川支所戸倉出張所カキ部 会、南三陸森林管理協議会。



「南三陸町産業フェア」は全国からの支援隊が支えている

庄内町は地元の商工観光支援に来町する南三陸町の山形の「姉妹都市」で震災後にも数千万の義援金が送られてきている。山形の庄内のブースには今年も行列が出来ていた、「庄内牛」の焼肉販売にはいつもの風景です。

千葉賢一絵画展

12月21日(土)午前10時~午後2時 志津川本浜志津川広報プラザにて (志津川駅の海側隣)

利き手が病気で使えなくなってから、 左手で絵筆を持ち、100点以上も描き続けた(千葉 印刷の長男)。コーヒーコーナーあり。大根・古着販 売(数量限定)売上は台風被害のお見舞いにさせて頂きます。 晴天に恵まれた産業チェアの出店者は午後には 「売り切れ御免」の嬉しい声も聴いた。

来場・出店・演技などに参加された方々には、 多くの笑顔があり、「関西京都今村組」のはっぴ を着た子供達が、元気と勇気を与えてくれた。

南三陸町人口の推移

(令和元年 10 月末現在)

	南三陸町	志津川	戸倉	入谷	歌津
22年3月	17,815	8,294	2,433	1,907	5,181
30年9月	13,048	5,353	1,420	1,970	4,305
元年10月	12,732	5,175	1,390	1,943	4,224
30年9月からの 増 減 数	-316	-178	-30	-23	-81
元年9月からの 増 減 数	0	2	-2	5	-5
世帯数	4522	2042	471	655	1354

(2019年11月の新聞記事より)



17 日入谷地区にある「ひころの里」の駐車場は来場者の車でいっぱいだった。松笠屋敷の手前の蔵づくりの建物では「蕎麦まつり」に合わせ、振る舞いの餅つきと試食コーナーが開催され、多くの来場者で賑わっていた。「何がいいの?」と、世話役の人が優しい言葉を送ってくれる。メディアも取材に来ているようで、山里の日曜は賑やかな雰囲気の中にあった。

松笠屋敷の中には順番を待つ人で賑わい、地区の御世話人が受付をし、ろばたでは入谷地区の重 鎮が子供を連れた家族と語り合う姿があった。

注文されてからそば粉をこね、そば切りし出来 立ての蕎麦を提供している。テーブルでは蕎麦が 来るまで隣り合わせた人との会話も、蕎麦まつり の一つの楽しみと隣席の方が教えてくれた。色々 な話に待つ間も、蕎麦まつりの素敵な時間を味 わった。

未来への教訓

復興! 大津波の記憶を風化させない

令和元年(2019年) ~ 地元報道より ~

7月の出来事

南三陸町

◆南三陸町が志津川市街地で進めている土地 区画整理事業を巡り、阿部長商店が一部区域 を対象区域から除外したことなどが違法だと して、町に対して事業での換地処分の無効確 認などを求める訴えを起こした。

特措法では、被災市街地復興推進地域について、健全な復興を図るためできる限り速やかに土地区画整理事業などの措置を講じる事を定めている。

訴えを起こしたことについて、町は裁判で 争う姿勢を明確にした。

◆南三陸町の 2018 年度の町税収入額が、過去 最高の約 13 億 9 千万円に上った。収納率は震災 前の 10 年度に 82. 41%、11 年度は震災の影 響で 78.07%と低下したが、17 年度の 99.49% は県内 35 市町村でトップ (確定値)。

- ◆南三陸町の高齢化率が年々上がっている。3 月末現在で 35.6%、県内 35 市町村の中で 12 番目の高さになっている。総人口1万 2837 人 のうち高齢者が 4574 人となっている。
- ◆南三陸町はトヨタ自動車、県などとEVを活用した社会システム実証プロジェクトを2022 年まで取り組む協定を締結している。今回はプロジェクト第1弾として、小型電気自動車(EV)を町内の移動手段に活用する実証事業を20日から始める。
- ◆5日、名足小学校の5年生が災害のリスクから身を守る方法を考え、万一の際にどう行動すべきかを話し合った。児童はグループごとに考え、地域や国に求めたいことも挙げて発表した。東北大学の減災教育「結」プロジェクトの一環として行なわれた。
- ◆南三陸町をはじめ、全国で小型電気自動車など次世代型の移動手段を活用した事業に取り組む自治体が連携し、「仮称・次世代モビリティ都市間ネットワーク」を立ち上げる。 事業に取り組むのは、南三陸町、宮城県、女川町、愛知県豊田市、茨城県つくば市、島根県出雲市、沖縄県久米島町の7自治体となっている。

- ◆7日気仙沼市総合体育館「ケー・ウェーブ」で、第44回県防具付空手道選手権大会が開かれた。気仙沼・本吉勢は、組手で5部門、形で3部門を制したほか、33人が上位入賞し10月に東京で行なわれる全国大会に出場する。
- ◆志津川のサンオーレそではま海水浴場周辺を会場に、南三陸町初の「アクアスロン大会」が7日開かれた。県内外から約60人が参加した。スイムとランの2種目で争われるのがアクアスロン競技。
- ◆台湾との交流を深めている南三陸町。台湾の大学生が職業体験を行なうインターシップが、9日から始まった。今年は14人が2カ月間滞在し、職務体験をする。南三陸町で生活を体験し、住民と交流を深める。
- ◆全国高校野球選手権宮城大会を前に、歌津の「平成の森球場」のスコアボードが電光掲示板に リニューアルされた。宮城大会は、14 日・15 日に2回戦4試合が組まれている。
- ◆南三陸町はラムサール条約に登録された志津 川湾の藻場の現状を把握する調査に取り組んで いる。7月中をめどに調査を終え、9月までに データをまとめる予定。